

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」恵庭校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		事務所の配置換え等で運動できるスペース確保しています。	スペースを広く使う活動の際は、重ならないように打ち合わせをしています。
	②	職員の配置数は適切である	○		子ども達の入れ替わりの時間帯の際、支援を終えた子ども達には、お迎えや送迎まで、職員の目が届くように絵本を読んでもらっています。	職員の公休日を確認しながら、1人の職員が3～5ケース持てるように配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		階段では、手をつなぐ等、声掛けで動けるように配慮している。 手洗い場には、踏み台を置いている。掲示物でやり方が分かるようにしています。	階段はあるが、施設内はバリアフリーになっています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日清掃を行い、利用者が気持ちよく利用できるようにしています。	職員間で打ち合わせを行い、よりスムーズに支援を進められるようにしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		イベントや小集団の反省の他、1人1人の今後の支援についても時間を見つけ打ち合わせを行うようにしています。	個別支援計画作成やモニタリング会議等行っているが、公休の職員への引継ぎや会議の時間等の調整を効率良く回せるように今後も更に改善していく必要があります。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		昨年は、保護者会のようなものを行って欲しいと要望があったので、今年は2度茶話会を行っています。 評価表は、職員間で共有しています。	茶話会の日程等、お仕事もされている方もいるので、合わせていき参加したいけど出来ない方への対応が課題となっています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価表は、HPで公開しています。	会報等は、以前から作成したいと思っはいるが、来年度からは毎月ではないが出たいと思っています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っていません。	行政等にも評価表公表についてはお伝えしています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		リモートでの内部、外部研修に参加しています。	地域（市）主催の研修等があれば参加していきたいので、市

					役所や発達支援センターで情報を収集しています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		職員間では、引継ぎや支援内容でのうち合わせをしている。それをもとにして支援計画を作成しています。	保護者の方々には、フィードバック時にモニタリングの際に要望等を聞くようにしています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	利用者様お一人お一人の細かなアセスメントも確認し進めています。	今後、使用していく方向で考えています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		計画作成時やケース会議、引継ぎを常に行い、利用者の様子を確認し支援内容を考えています。	校舎内だけではなく、幼稚園、保育園、こども園の見学や担当者会議に積極的に参加し、より広く、一人一人の利用者を理解し、よりよい支援に繋がっていきたいと思っています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ケース会議時に支援計画について再確認しながら、支援内容を考えています。	利用者の今必要なことを見極めるために職員同士で今以上に話し合う時間を設けるようにしていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		利用者の支援等で職員間で引継ぎを行いながら、プログラムを立てています。	引継ぎをもっと濃いものにして、職員それぞれが利用者について積極的に意見を出し合っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者の興味関心が引けるように工夫しています。 (体を動かしながら楽しく行う)	研修や他校舎とのリモート会議等で交流し、情報交換を行い、支援方法を吸収しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		毎月小集団を行っているの で、小集団での課題を個別で行っています。	支援計画には、集団活動とは記載はしていませんが、今後は、わかりやすいように集団活動も明確にしていきたいです。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		部屋の割り当てや道具が被った際にうち合わせをしています。	時間がある時は打ち合わせを行っているが、毎回必ず行っていないので、なるべくできるように時間を作っていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返り、今後についての打ち合わせは、必ず行っています。	振り返り、引継ぎを行うことで、次の支援に繋がるようにしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録は、3日以内に入力し、利用者とのやり取り等、細かく記入し、支援の検証・改善に繋がっています。	ケース会議やモニタリング時には、記録を見ながら、打ち合わせをしています。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		日頃支援の引継ぎ等で今何が必要か話し合い、支援に繋げ、更にモニタリングで打ち合わせをしています。	常に支援に対しての見直しの必要性については、職員間で話し合い、見極めをし進めています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が出席しています。	児発管だけではなく、職員も同行出来る時は出席しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		発達支援センター、相談室とは連携を取っていますが、母子保健、子育て支援との連携は、取っていません。	今後、機会があれば、母子保健や子育て支援との連携も出来ればと思いますが、地域での流れがあり、窓口は、相談室となっていますので、直接の連携は難しいです。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在対象とされる方の利用はありません。	今後必要となれば連携を視野に入れ動いていきたいです。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在対象とされる方の利用はありません。	今後必要となれば連携を視野に入れ動いていきたいです。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育園、認定こども園、幼稚園に見学をさせてもらい、情報を共有し今後の支援について連携を取っています。	まだ見学実施に至っていないところもあるので、機会を設け見学をし、個別支援と集団でのすり合わせをしそれぞれの役割分担を理解、確認しながら進めていくのが理想です。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、連携は取ってきたいです。	担当者会議等で出席をし情報共有を行っていますが、利用者全員の担当者会議までには至っていません。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		担当者会議等で専門機関との情報交換、連携は取っています。研修は今年度中に参加予定をしています。	定期的とはいかないまでも担当者会議には、出席しています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	周知や担当者会議等で出向くときはありますが、活動を共にする機会はありません。	見学はさせていただいていますが、交流等は行われていません。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	出席できる時間帯であれば出席しています。	最近、時間が取れず中々出席出来ていません。

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援後毎回、振り返りの時間を取り、お話しさせて頂いています。	保護者様の気持ちに配慮しながら、共通理解に心がけています。
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	ペアレントトレーニングは、行ってはいないが、それに代わるようなお話はさせていただいています。	事業所内相談支援を行い、保護者様の相談等をお受けしています。それと同時に助言をさせていただいています。
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しています。	契約時に説明させて頂くと、その都度、説明はさせていただいています。
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者様にニーズを伺い、それを踏まえた上で個別支援計画を作成しています。支援内容については、日頃からお話しさせて頂いています。	計画作成時の説明はもとより、日頃から利用者様の状況は説明させて頂いています。
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的ではないが、何かある毎に相談はお受けしています。	保護者様には、事業所内相談があることを伝えています。
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度より、茶話会を開催しています。年度内2回終了、後1回予定をしています。	以前より、保護者様より希望がありまして、今年度、開催することが出来ました。来年度も開催は予定しています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談については契約時に事業所内相談等の説明をさせていただいています。	相談があった場合には職員間で共有し、保護者様、利用者様に対応しています。
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に開放は発行していませんが、来年度からは、毎月とはならないと思いますが、会報は発行したいと考えています。	イベントのチラシ配布、HPにてお知らせ等を行っているが、内容的にイベントが中心となっているので、来年度からは、内容を充実していきたいです。
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○		掲示物にも充分注意し、書類等はファイリングをし、鍵をかけて保管しています。	写真の掲載等、アンケートにて保護者様に確認しています。
	⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		説明等、細かく、具体的にを行っています。	分かりやすいように表示するなど工夫をしています。
	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域住民を招待するイベント等は開催はしていません。	保護者対象に茶話会は開催していますが、今後は開かれた事業運営も視野に入れて考えていきたいです。

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し、訓練も行っています。今年度は地震、不審者、火災を実施しました。	訓練当日に参加する利用者の保護者には、確認を取り実施しています。日程も施設内に掲示していますが、わかりやすいように工夫します。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練を行っています。今年度は地震、火災、不審者の訓練を行いました。	施設内には、訓練内容日程を提示しているが、送迎利用の方の保護者には、伝わらないところもあるとおもうので、来年度からは、やはり会報等でお知らせが必要になってくると思われます。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認を行っている。書類等に記入して頂いています。	契約時にフェイスシート、アセスメントシートをお渡しして、記入して頂き職員間で共有しています。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		イベント等で食べ物を扱う際、保護者に確認を取るようにしています。	契約時にもなるべく、確認するようにしています。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成し共有しています。	実際にケガに繋がるような場所等を職員間で確認しながら、進めています。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を配置し、担当の職員を決め、会議参加後には、担当職員より内容説明を行い職員間で共有しています。	ファイルを作成し、職員間で共有はしているが、定期的に再確認をしていった方が良いと思われます。来年度からは、時間を確保し確認をしていきます。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		今のところは、身体拘束を必要とする対象者はいませんが、必要となる時のことを考え、確認しながら進めていきます。	必要となった際には、保護者、利用者の理解を得て進めていきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」恵庭校

保護者等数（児童数）：27 回収数：24 割合：89%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	1	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	0	0	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20	4	0	0	・生活空間はわかりやすい環境になっていると思うが、2階に事業所があり、階段しかない為、バリアフリーの点では適切とはいえないのかと感じました。 ・2階なので会談はしようがないです。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	0	0	2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	1	0	1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	3	1	10		
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	0	0	0		

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	13	3	1	7	是非、お願いしたいです。	・事業所内相談の際に助言等しているが、ペアレントトレーニングについては、研修を受けなければならないかどうか、確認し検討していきたいと思います。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	0	0	2		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	2	0	4	・送迎時以外の面談も定期的にあると、最近の様子も共有できると思います。	・保護者の方に事業所内相談についてお伝えしています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	3	1	5	予定が合わず、まだ参加できていませんが、いつか保護者会に参加したいです。 ・日程が合わないことが多いので土曜日にも開催していただくと助かります。情報交換のお場があると嬉しいです。	今年度は、茶話会として、4月と9月に行っています。3月に今年度最後を予定しています。  ・日程に関しては要望も考慮し、考えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	0	0	2		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	0	1	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	0	0	4		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	23	0	0	1		
非常時等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	1	0	7		

の 対 応	①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	3	0	9			
	満 足 度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	20	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今日は〇〇先生だったの！いっぱい遊んだ！」と笑顔で教えてくれます。</li> <li>・先生方全員好きみたいで、クラゼミに行くのをいつも楽しみにしています。</li> <li>・クラゼミに行くのを毎回楽しみにしています。</li> </ul>	・利用者からそのような意見が沢山出てくるように更に工夫していきます。
		③	事業所の支援に満足しているか	23	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、詳しく支援の内容を教えてくれるのでうれしいです。</li> <li>・トラブルにすぐ対策をこことても感謝しています。クラゼミにさんに通い出してから成長をととても感じています。</li> </ul>	・フィードバックは送迎時にもしていますが、担当ではない職員が送りに出る時があるので、詳しく伝えられるようにしていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。